

様式1

令和7年度 第1回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取養護学校
開催日時	令和7年6月9日（月）
会 場	鳥取養護学校会議室

1 学校長挨拶

2 自己紹介

3 学校運営協議会会長選任

- ・会長 岸田委員、副会長 中谷校長が選任された。

4 学校経営方針等の説明

- (1) 学校経営方針について
- (2) 令和7年度年間評価計画、学校自己評価表について
- (3) 県立学校裁量予算について
- (4) 早朝子ども教室について
- (5) 教科書の選定について

5 協議

(1) 学校教育全般についての質疑

- ・早朝子どもの始まりの経緯はどのようなものか。＞＞保護者の要望等を聞きながら始まったと捉えている。
- ・放課後等デイの枠もなかなかない現状である。夕方の延長あずかりはどうなっているのか。＞＞学校では考えていない。保護者にもいろいろな都合があり、要望もあると思う。
- ・いろいろな障がい子どもたちがいるが、家庭で見ているような子はあるのか。＞＞義務教育段階は全員登校している。体調面を考慮して、家庭で過ごす方が長い子どもたちもある。就学前の子どもたちについては把握できていない子もいる。
- ・子どもの世話で社会参加ができていく家もあるというのが現状である。
- ・ICT 機器、VR ゴーグル、スイッチなど購入した物の継続状況はどうか。＞＞e スポーツは計画的に行っている。その他のものも情報担当が年計に入れている。計画しないとなかなか使わない。機器が埋もれないようにしないといけない。日々の授業で子どもたちの学習の補助となるように。イベントにならないよう考えていかないといけないと思っている。
- ・保護者との連携について、チーム副担任となっているが、保護者対応の場合担任だけが対応するようなことになるのか。＞＞小学部の場合、副担任が懇談に同席している。朝の迎えも副担任が出る場合もある。日頃から関係を作るようにしている。

(2) 連携協働の取り方について

- ・中ノ郷中で中学生がボランティアができるような機会を探していた。部活動をやっていない子の受け皿になるようなことがあれば。浜坂地区の行事に参加できるようなことがあれば、主催団体と話をつなげるようなことができる。

- ・人の役に立つ体験はさせたい。逆にボランティアで行けるようなことはあれば。
- ・地域のクリーン活動とかもある。

(3) 今年度の評価計画について

- ・「～したい」が本人から出るといい。「意思決定支援」のフレーズを評価表のどこかにいれるといい。知らないことや経験したことないことは言えない。意思決定支援（選ぶために支援）の機会を増やしてもらえるといい。こちらが受け身にさせてしまっている関わりもあるのではないかな。

(4) 学校運営や事業に対する提言

- ・交流は、発信もだが、子ども同士の関わり（支援学級の子とか）もいいのではないかな。同年代の子どもと交流すること。
- ・指筆談を取り入れた。自分の思いを伝えることが大事。職員も勉強するように、土曜日に指筆談をしている人と研修会をした。意思が伝わるような取組は大事だと思う。
- ・子どもたちからも、自分たちが何をしてほしいかを発信することも大切と思う。また、兄弟支援や家族支援のことも気にしてほしい。